

## ひと・夢・まち 町長コラム

### ～新型コロナ感染～大雨災害～そして絆：「中山中祭・体育祭 観覧日記」（令和2年9月号）

#### 番外編 vol.01

8月29日、中山中学校のグラウンドで第1回中山中祭・体育祭が開催されました。いろいろな行事が中止・延期されている中での開催ではありましたが、生徒会および先生方の万全なるガイドライン策定のもとの実施であると察しながら観覧させていただきました。1・2・3年生各学年のクラス対抗戦から始まります。各学年がテーマを設定しての団体リレー方式の競争です。学校全体の大きなテーマは「防災」。土のう作り、心臓マッサージ、手作り担架搬送等々、災害救助・避難準備には必要不可欠の活動が、生徒たちのたすきリレーによって表現され、チームの団結でタイムを競います。これはもはや体育祭を超えて町民を救うための防災訓練を見ているようでした。勝敗はあるものの、最後までやり遂げた生徒全員の姿に誇らしさが感じられました。皆さんご存知の通り、わが町はベッドタウンであり、昼間は子どもと高齢者が多く、お父さんお母さんは町外で働いている方が多いです。7月末の大雨災害の時も中学校の避難所設営・運営に中山中の生徒たちが協力してくれました。2年前から防災について学校全体で学びを深め、現実の災害時に対応していただき大変感謝しています。

中山町の明るい未来を感じることができた中山中祭・体育祭でした。これからも「絆」というキーワードを胸に抱き、新しい社会に飛び出していきたいです。